

事例番号 43

Keywords: 自閉症, 知的障害, 儀式・行事, 集団場面への参加, プレゼンテーションソフト, 視覚支援, 障害に基づく困難の改善

1. タイトル

- ・パワーポイントを活用した儀式的行事の取組

2. 事例の対象となる児童生徒について

- ・全校幼児児童

3. 使用する機器（支援機器）名称と特長

パソコン、プロジェクター(パソコン画面の出力として)

4. 使用した機器を選定した理由

- (1) 支援機器によって、障害による学習上又は生活上の困難を（主体的に）改善克服するための活用が主たる目的である場合」
- ・自閉症の認知特性として、視覚的な情報が理解しやすいことが挙げられる。儀式的行事においては、幼児児童にとって活動の意味が理解しにくいことや、時間的な見通しがもちにくいということで、視覚支援の方法として選定した。

5. 選定のプロセス

パソコンについては、充電時間や持ち運びのしやすさを考え、パナソニックの LETS ノートを使用した。出力については、全校の幼児児童が見えるようにプロジェクターを使用した。

6. 指導の内容

- ・校長先生の話、儀式のスケジュールを視覚的に提示することで、幼児児童の儀式への参加を促す。

7. 支援機器の使用効果あるいは、指導の効果と支援機器の評価

パワーポイントを使用することで、話の内容を一部理解でき、逸脱が減ってきている。また、スケジュールによって、時間的な見通しがもてるようになってきている。

8. まとめと今後の課題

- ・学校における儀式の意味は知的障害のある幼児・児童にとっては、大変分りにくいものである。また、自閉症である故に見通しのもてなさや必要な情報を十分受け取ることができず、パニックになったり、逸脱行動が多くなってきてしまう。そういう意味で、少しでも意味が分かるように視覚的な提示していくことは今後も大切であると考えている。

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「特別支援学校におけるアシスティブ・テクノロジーの活用ケースブック－49例の活用事例を中心に学ぶ導入、個別の指導計画、そして評価の方法－」（2012/3）に記載された内容である。